

3. 山の学習支援事業を活用した年間指導計画の例

①(小学5年)

テーマ	高知県の豊かな自然環境について学ぶ森林環境教育		
学校名(学年)	もりの小学校 5年	対象児童・生徒数	90名
概要及び実施計画	<p>1. 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●森林の様々な働きを知り、林業や山を育てることの重要性を理解する。 ●森林環境を守るためにも、国産の木を使うこと(木づかい運動)の重要性を学ぶ。 <p>2. 活動内容</p> <p>(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●No.10 森林入門! 国土の自然環境の特色を理解し、気候や地理的条件などから日本(高知県)の自然、森林が豊かであることを理解する。 (講師:高知県立森林研修センター情報交流館) ■社会 日本の国土と私たちの暮らし ■理科 流れる水の働きと土地の変化 <p>(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●No.11 林業の仕事と林業施設見学 森林の役割や林業について知り、人間の暮らしが森林と深くつながっていることを理解する。 (見学先:〇〇森林組合) ■社会 国土の自然とともに生きる <p>(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●No.18 木工クラフト体験 鉛筆立てなどの日用品を作ることを通して、ものづくりの楽しさと木に触れる心地よさを体験し、森の恵みやその文化に触れる。 (講師:高知県立森林研修センター情報交流館) <p>(まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習発表会で保護者や地域の方に発信する。 1年間の学習成果をまとめ、他の学年や保護者、地域の方などに伝えることで、これまでの活動を振り返り、森林の大切さについて理解を深める。 		

P3~4の図を参考に、テーマや目標に合わせてプログラムを組み合わせてみましょう!

外部講師を依頼したいときは、高知県森と緑の会に相談。

学校へ講師が出張してくれます。謝金・交通費を申請しましょう。

各地域の林業施設はp.13~14 森林環境学習施設・団体リストを参照。

バス借上代を申請できます。



材料費や道具の準備等について、事前に講師に確認しましょう。

②(小学1年)

テーマ	身近な自然に触れ、季節の変化を五感で感じよう		
学校名(学年)	やまの小学校 1年	対象児童・生徒数	25名
概要及び実施計画	<p>1. 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●身近な自然に触れて、そのよさに気づき、大切にしようとする。 ●身近にあるもので遊びや遊びに使うものを工夫して作り、楽しみながらその面白さや不思議さに気づく。 <p>2. 活動内容</p> <p>(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●No.1 春の森散歩・公園散歩 春の身近な自然を観察し四季の変化や春の訪れに気づく。 ■国語 えにっきをかこう ■生活科 こうしてでくさばなやむしをさがそう <p>(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●No.6 秋の自然を楽しもう 身近な秋の自然を観察して季節の変化を感じる。木の実や葉で造形を楽しみ、感じたことを文にして伝える。 ●No.2 万華鏡づくり 自然観察で集めた草花や落ち葉などを使って万華鏡をつくり、自然のいろいろな形や色の美しさ、不思議さに気づく。 (講師:高知県立森林研修センター情報交流館) ■生活科 あきをさがそう、あきのおもちゃをつくらう はっぱやみであそぼう、はなやはであそぼう ■国語 はっけんしたよ <p>(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●No.8 冬の森をたのしもう 季節の変化に気づき、みんなで遊びを楽しみ、みんなで使う公共施設の利用の仕方を学ぶ。 (利用施設:高知県立南喜ヶ峰森林公園) ■生活科 ふゆをさがそう、そとであそぼう 		

高知「環境絵日記」の応募につなげても。
(高知県環境活動支援センターえこらぼ)

どんぐりをつかった工作もおすすめ!

外部講師を依頼する場合は謝金・交通費を申請しましょう。

材料費や道具の準備等について、事前に講師に確認しましょう。

必要な経費を事前に施設に確認しておきましょう。

バス借上代を申請できます。

③(小学3・4年)

テーマ	身近な木や植物に親しみ、森林や自然の大切さについて考えよう		
学校名(学年)	まちの小学校 3・4年	対象児童・生徒数	90名
概要及び実施計画	<p>1. 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●身近な木や植物に触れる活動を通して、自然に親しみ、その生命の不思議さや自然の魅力を感じる。 ●木や植物と人の暮らしの関わりについて知り、ものづくり体験を通して森林や自然の価値を知る。 <p>2. 活動内容</p> <p>(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●No.3 木とともにたのなるう ①身近な樹木調べ、③木の名札づくり 校庭や学校の近くの公園などの樹木や植物の名前を調べ、触れたり匂いを嗅いだりして観察する。お気に入りの木を見つけて樹木プレートを付ける。 ■国語 調べて書こう、わたしのレポート ■理科 しぜんのかんさつ <p>(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●No.16 紙を漉く 高知県の伝統産業である「土佐和紙」の紙漉き体験を通して、木や植物と人の暮らしとの関わりについて学ぶ。 (見学先:いの町紙の博物館) ■社会 日本の国土と私たちの暮らし ●No.4 牧野植物園の見学 木や植物の利活用についてさらに詳しく調べ、森の恵みやその文化に触れる。 <p>(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●No.3 木とともにたのなるう ② 樹木図鑑づくり 1学期に調べて名札を付けた樹木の図鑑を作成し、他の学年に紹介する。 <p>(まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習発表会で保護者や地域の方に発信する。 1年間の学習成果をまとめ、他の学年や保護者、地域の方などに伝えることで、これまでの活動を振り返り、森林の大切さについて理解を深める。 		

外部講師を依頼したいときは、高知県森と緑の会に相談。

授業で使用する図鑑の購入費も補助金の対象です。

材料費について、事前に講師や施設に確認しましょう。

入館料・体験料を申請できます。

バス借上代を申請できます。校外学習の行事と組合せても。

④(中学校)

テーマ	私たちの生活を支える生物のつながりと、森林の役割について考える		
学校名(学年)	かわの中学校 3年	対象児童・生徒数	30名
概要及び実施計画	<p>1. 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の川における水生生物の調査を通して、豊かな川の環境には豊かな森林が必要なことを学ぶ。 ●自分たちの住んでいる地域のくらしと山・川・海の関わりについて調べ、生物多様性の価値や森林の役割と保全の重要性を理解する。 <p>2. 活動内容</p> <p>(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●No.22 川の環境と生きものの世界を見る 身近な川の水生生物を調査して、豊かな川の環境と森林の関係について学ぶ。 ■理科 生命のつながり、自然界のつながり ■国語 絶滅の意味 <p>(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●No.24 川で読み解く森・里・海 流域の自然を活かした地域の産業やくらしの営みについて調べ、森林と里、海をつなぐ川の働きを知るとともに、生物多様性の価値について考える。 ■地理 身近な地域の調査 ●No.17 森林(ヤマ)の仕事体験 間伐体験を通じて、森づくりの仕事とその意味を理解する。間伐材を利用した木工製作を行い、森林資源の持続可能な利用について考える。 (講師:〇〇森林組合) ■技術 木材による製作 ■理科 地球の明るい未来のために <p>(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習発表会で保護者や地域の方に発信する。 1年間の学習成果をまとめ、他の学年や保護者、地域の方などに伝えることで、これまでの活動を振り返り、森林の大切さについて理解を深める。 		

作文コンクール「森や自然についての子ども達の作文」(一般社団法人高知県山林協会)に応募

生物を採集するための道具や観察機材は、無料で借りることができます。ご相談ください。

講師謝金、バス借上代を申請できます。